

岩陰校だより



2月号

令和6年2月1日発行

京都市立岩陰小中学校

〒616-8486

右京区嵯峨嵐山南ノ町32-2

TEL 0771-44-0310

校長 小川 秀

大谷翔平選手からのプレゼント

テレビ等でも話題になっている『大谷翔平選手

寄贈のグローブ』が本校にも届きました。心待ちにしていた子どもたちは、早速交代交代にグローブをはめながらキャッチボールに挑戦していました。近年、全国的に子どものボールを投げる経験が減少していると聞きます。岩陰の子どもたちの中にも、今回初めてグローブをはめたという児童もいました。「投げる」という動作には「瞬発力」や「巧緻性」が求められ、またそれらを高める運動効果もあります。

大谷選手から贈られた6万個のグローブが、岩陰小中学校の7名を含めた全国の子どもたちの体力向上や仲間づくりのきっかけ、そして夢の種となることを願いつつ、本校では身近な遊び道具としてどんどん活用していきたいと思っています。

避難訓練 1月22日（月）地震、火事を想定した避難訓練を行いました。本校では避難をする際、状況に応じながら「身を守る」「校庭に避難する」「学校の向かいの駐車場へ避難する」という3段階の避難行動をとることとしています。今回の訓練は児童生徒や教職員が校内で散らばって過ごしている昼休みに実施しましたが、子どもたちはそれぞれに落ち着いて真剣な表情で訓練に取り組むことができました。いつ起こるか分からない災害に備え、『児童生徒、教職員、ご来校者、すべての命を守るための訓練』を今後も大切にしていきたいと考えています。



第3回岩陰キラキラ Talking Time 1月30日（火）、今年度最終の岩陰キラキラ Talking Time（ポスターセッション形式の発表会）を行いました。岩陰地域のこと、環境のこと、平和について等、それぞれのテーマで年間のまとめとなる発表を行いました。岩陰キラキラ Talking Time の特徴は、発表者だけが話すのではなく、聴き手となる児童生徒や参観者からも感想や質問をもらい、双方のコミュニケーションによって1つ1つの発表が作られていくという点です。そして、そこでのやりとりが子どもたちの自信や力に繋がっていると感じます。多数ご出席いただきました保護者地域の皆様ありがとうございました。又、今回はこの取組や本校の教育に関心を持ち、福井県や佐賀県から大学の先生方が参観に来られました。『岩陰という素敵な町がここにある。』ということを遙か遠方の方々にもご紹介できたことを嬉しく思っています。

冬の風物詩 百人一首、かるた、凧あげ等、1月はお正月遊びを楽しみました。スマートフォンや家庭用ゲーム機など、子どもたちを取り巻く環境も急速に変化している現代だからこそ、これらの文化に触れる機会を大切にしたいと感じます。先日はようやく雪遊びをすることができました。どんなに電子化が進んでも、かるたでお手付きをした時の盛り上がりは変わりません。雪の中で転げ回る楽しさも子どもたちはよく知っています。昔ながらの遊びの中に、改めて温もりを感じた1月となりました。



校長室より



令和6年元旦、石川県能登半島で最大震度7の地震が発生しました。犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

被災地では、全国の自治体から派遣された応援職員が1日辺り千人超と報道されています。2016年に起きた熊本地震を受け、2018年から始まった「応急対策職員派遣制度」に基づくものだそうです。機能を失った被災地を各自治体からの派遣で支え合う制度です。大きな災害を経験し、そこから新しい対策を考える。何度も襲ってくる自然災害に対して、その都度何かを教訓化し我々は立ち向かってきたのです。また、観光復興支援「北陸応援割」の実施も明らかにされています。直接的な支援ができなくても、違った形で復旧・復興に向けて支援できる制度です。

2015年、東日本大震災で被災した仙台市宮城野区を視察で訪れたことがあります。東日本大震災は2万人を超える死者を出した、第二次世界大戦後最大の自然災害です。津波の被害から4年が過ぎていましたが、広大な平野は見渡す限り瓦礫だらけで、たまに形を残す建物は、鉄筋コンクリートの病院と学校だけでした。夕暮れ時には、瓦礫を積んだダンプカーが国道を数百台の規模で列を作って帰って行きます。被災の規模の大きさを改めて実感しました。仙台市の小中学校では、震災を教訓化した新しい防災教育が始まりました。主幹教諭という防災に特化した教員を配置し、地震や津波に備えた新しい防災計画と避難訓練の方法を作り出しました。10mの津波に対して、学校の建物は効果的な避難場所となります。訓練では子どもたちを3階以上に避難させるだけでなく、地域の人々を受け入れ、迅速に避難させることも前提にして行われていました。水や食料といった備蓄品も増え、学校は避難場所としての機能を強化しました。

人類の歴史は自然災害とウイルスとの戦いの歴史ともいわれています。何度も多くの人の命を奪われながらも、その都度そこからたくましく立ち上がってきました。東日本大震災以降、人々の支援を「絆(きずな)」という言葉で表すようになりました。能登半島にも多くの「絆」が集まろうとしています。改めて被災地域の皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

日	曜	2月行事
1	木	フッ化物洗口 ALT来校
2	金	①児童生徒朝会 進級説明会(6年) 部活動1st
3	土	小学校部活動全市交流会 卓球の部 選挙会場準備
4	日	京都市長選挙投票日
5	月	
6	火	
7	水	1万歩運動の日 SC来校 オーケストラ入門8年 本部会
8	木	フッ化物洗口
9	金	発育測定 保健安全の日 部活動1st
10	土	私学入試
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	給食感謝週間(～16日) 私学発表 ③④リンゴ授業 2年生CBT算数 預り金振替日
14	水	1万歩運動の日 2年生CBT国語 本部会
15	木	ALT来校 フッ化物洗口
16	金	②④給食に関する授業 部活動1st 算数・数学検定
17	土	
18	日	
19	月	テスト週間8年
20	火	
21	水	1万歩運動の日 ⑤手話講座 自由参観 本部会 SC来校
22	木	フッ化物洗口 ALT来校
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	⑥委員会 にこにこの日
27	火	学年末テストI 8年 SC来校
28	水	学年末テストII 8年 一万歩運動の日 本部会
29	木	学年末テストIII 8年 フッ化物洗口
	3月	1日(金)計算大会 8日(金)巡回文庫・自由参観 漢字大会 13日(水)9年生を送る会 15日(金)卒業証書授与式・給食なし 19日(火)修了式 21日(木)春季休業開始 28日(木)離任式 30日(土)PTA歓迎会 4月8日(月)着任式・始業式